

～ “おたがいさん”の心でつくる 温かいまち彦根 ～

社協 ひね

はぴとも基金（子どもの幸せ応援基金）誕生!!



ベビー・キッズ用品リユース〜カエコト〜

『子どもの幸せをみんなで応援したい』という願いと想いをカタチにするため、新たにスタートした“はぴとも基金”。

応援の輪が広がるように、みなさまからの寄付を心よりお待ちしております。
(寄付の方法は、9ページをご覧ください)



循環型未来食堂〜みんなの食堂〜



フリースクール〜てだのふあ〜

基金は、彦根の子どもたちの幸せにつながる様々な事業に活用していきます！

7月
2021
第218号

みんなでえらぼう!

はぴとも基金ロゴマーク最終決定一般投票

みなさんからの公募により集まった作品の中から候補を選出し、一般投票により決定します。
選出された候補作品はホームページをご覧ください。

投票期間: 6/15(火)〜7/15(木)

投票資格: 彦根市在住・在勤・在学の方

投票方法: ①投票用紙による投票

②インターネット投票

投票用紙&投票箱設置場所

- | | |
|---------------------|----------|
| ①社協窓口 | ④ふれあいの館 |
| ②彦根市男女共同参画センター「ウィズ」 | ⑤東山児童館 |
| ③子どもセンター | ⑥まんまるひろば |

インターネットでも
投票受付中



結果発表
7月下旬



一人一票で
おながいします。



彦根市社協では、「見守り合い活動」および「見守り会議」に取り組まれる自治会様向けの助成制度をご用意しています。詳しくは社協ホームページをご覧ください。

ふだんからの顔の見える関係づくり II 災害にも強い地域づくり

一多発する自然災害一

地震、津波、台風、豪雨、さまざまな災害が年々多発傾向であり、大きな被害をもたらしています。災害が起きることをなくすことは難しいですが、災害による被害を減らしていくこと(減災)は、私たちの意識次第で大きな効果をもたらします。地域の防災力=地域のつながり力です。

ふだんの暮らしのつながりが、“いざ”という時の行動にも生きてきます。

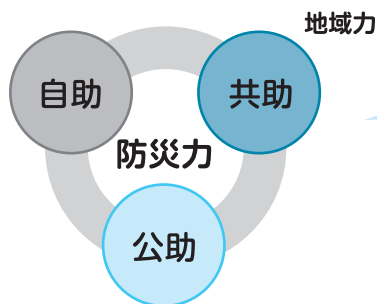
東日本大震災(2011)



西日本豪雨(2018)



熊本地震(2016)



【ふだんの暮らしのつながり】

サロン



見守り訪問



見守り会議



“災害にも強い地域づくり” 学び合い講座

市内の自治会・自主防災会・民生委員の方々に参加していただき、住民による防災・減災の活動を学び合う講座を開催しました。

実施報告【大藪町自主防災会】

お年寄りや子ども、障がいのある人も含め実現する「みんなの防災」。日常での備えやご近所とのつながりを災害時の力とする「毎日の防災」。これらの防災文化を育んでいく町づくりをめざして活動していることをお話しいただきました。

これから取り組まれる自治会向けには、「防災診断」(防災意識のアンケート)や「緊急助け合い連絡網」(助け合い担当を示した連絡網)を資料提供いただきました。

3月に開催!

「みんなの防災」・「毎日の防災」



誰一人取り残さない防災の実現

情報提供【彦根市危機管理課】

「自助」「公助」とともに「共助」(地域や近所での助け合い)を大切にすることが防災力につながることを助言いただきました。

災害ボランティアセンターとは？

災害ボランティアセンターは、被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。被災地を支援したいボランティアの思いと支援を受けたい被災者の困りごとの窓口となって、双方の思いを調整し、つなぐ役割を担っています。主に、被災地の社協が運営主体となりますが、自治会、民生委員、NPO、ボランティアグループ、他自治体からの応援など、各団体の協力をいただきながら運営していきます。コロナ禍では県外からの応援が来られなくなり、一層地域内での連携が必要となります。

センターの主な流れ



ご存知ですか？

彦根市災害時避難行動要支援者制度

台風や地震などの災害が起こった時、市役所や消防署、警察などの公共機関の支援には限界があり、すぐに全て対応することはできません。

この制度は、ご自身やご家族の力だけでは安全な場所に避難することが困難な方にあらかじめ登録していただき、災害時に地域の人々の協力によって避難していただくとするものです。

ふだんから地域でのつながりを強め、たすけあいの関係を築くことで、災害発生時の支援を速やかに行うことができます。

いざという時に「助けて」と言い合える、「おたがいさん」の力で支え合う地域づくりを進めていきましょう。

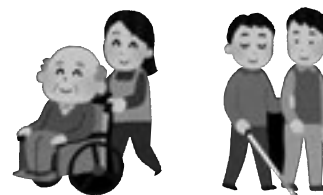
避難支援が必要と思われる方へ案内を送付、または窓口で配布



登録いただいた内容をもとに、本会から、自治会、自主防災会、民生委員、地域協力者等へ情報提供



提供した情報を地域の防災訓練等でも活かしていただきながら、有事の避難行動に活用



※まずは、ご自身の安全を守っていただくことが第一です。

全国で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症による影響で、医療や福祉分野にとどまらず、経済や教育、日々の暮らしなど、「あたりまえ」の日常が大きく変化した一年となりました。

こうした状況下にあっても、彦根市社協が果たすべき役割を地域と共に共有し、“おたがいさんの心でつくる温かいまち彦根”を目指し、次の事業に取り組みました。

【地域福祉推進事業の充実と推進】

- 地域福祉活動計画推進事業
- 学区(地区)社協活動推進事業
- 生活支援コーディネーター設置事業
- 見守り合い活動推進事業
- みんなの地域づくり推進事業
- 災害に強い地域づくり推進事業
- 子ども・若者支援事業
- 善意銀行を通じた預託(寄付)による地域福祉の推進
- 北・南老人福祉センターの運営



屋外での地域活動を応援！

【相談援助、生活支援活動の充実と推進】

- 総合相談体制整備事業
- 地域福祉権利擁護事業
- 生活困窮者支援事業
- 権利擁護サポートセンター運営事業



オンラインを活用した「なんでも相談会」

【介護保険、障害福祉サービスの充実】

- ケアプラン作成事業、ホームヘルプサービス事業、北・南デイサービス事業
- 地域包括支援センター(ハピネス・ひらた・いなえ)運営事業

【組織基盤の整備と強化】

- 法人運営体制の充実、事務局体制の充実
- 広報紙および電子メディアによる情報発信

【衣装貸付事業】

- 衣装の貸出、困窮者就職支援



貸衣装は誰でも利用OK！

一般会計

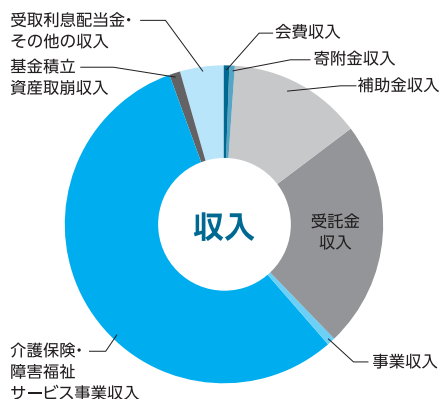
令和2年度決算報告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

収入の部

単位(円)

会費収入	4,267,700
寄附金収入	2,749,490
補助金収入	71,927,413
受託金収入	123,959,502
事業収入	4,660,500
介護保険・障害福祉サービス事業収入	299,374,822
基金積立資産取崩収入	5,252,878
受取利息配当金・その他の収入	23,473,222
収入の部合計	535,665,527



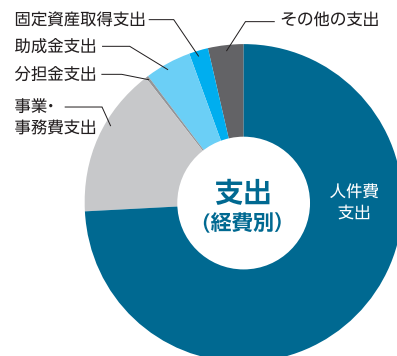
支出の部(経費別)

単位(円)

人件費支出	391,004,209
事業・事務費支出	80,546,751
分担金支出	909,000
助成金支出	24,824,696
固定資産取得支出	11,069,896
その他の支出	17,715,508
支出の部合計	526,070,060

当期資金収支差額合計

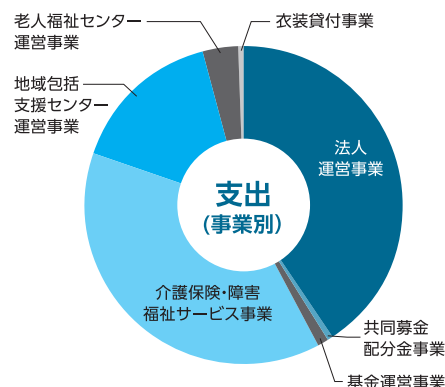
9,595,467



支出の部(事業別)

単位(円)

法人運営事業	214,518,611
共同募金配分金事業	2,538,075
基金運営事業	5,954,030
介護保険・障害福祉サービス事業	199,343,475
地域包括支援センター運営事業	82,003,786
老人福祉センター運営事業	18,961,746
衣装貸付事業	2,750,337
支出の部合計	526,070,060



事業報告、決算報告の詳細は本会ホームページをご覧ください。(http://www.hikone-shakyo.or.jp)
また、本会事務局および各事業所で閲覧することができます。

一人ひとりの寄付の思いをつむぎ、みんなと共に地域づくりへ

社協の趣旨に賛同いただき、賛助会費にご協力いただき、ありがとうございました。お寄せいただいた会費は、地域福祉活動や福祉団体への支援等、地域福祉の推進に役立てさせていただきます。



令和2年度 賛助会費にご協力いただいた個人・企業の皆様

(令和3年3月31日現在)

所 美恵子

認定非営利活動法人ひこね育ちのネットワークラポール

特定非営利活動法人障害者自立支援センター葦の舟

株式会社えがお

NPO法人 夢・同人

有限会社SKY-Tカンパニー グループホームつぼみ

デイサービスさくら

彦根市聴覚障害者協会

伊吹山ガマの油口上保存会

認定NPO法人サタデーピア

稲枝ふたば保育園

淡海琴佑会

(敬称略・順不同)

※公表に同意いただいた個人・事業所のみ掲載しています(社協ひこね第215号・216号掲載分を除く)

令和3年度 賛助会費を募集中！ ご協力をよろしくお願いいたします。

賛助会費に賛同いただける方は、お問い合わせください

彦根市社会福祉協議会 総務課 電話:22-2871 FAX:22-2841

彦根市地域福祉活動計画

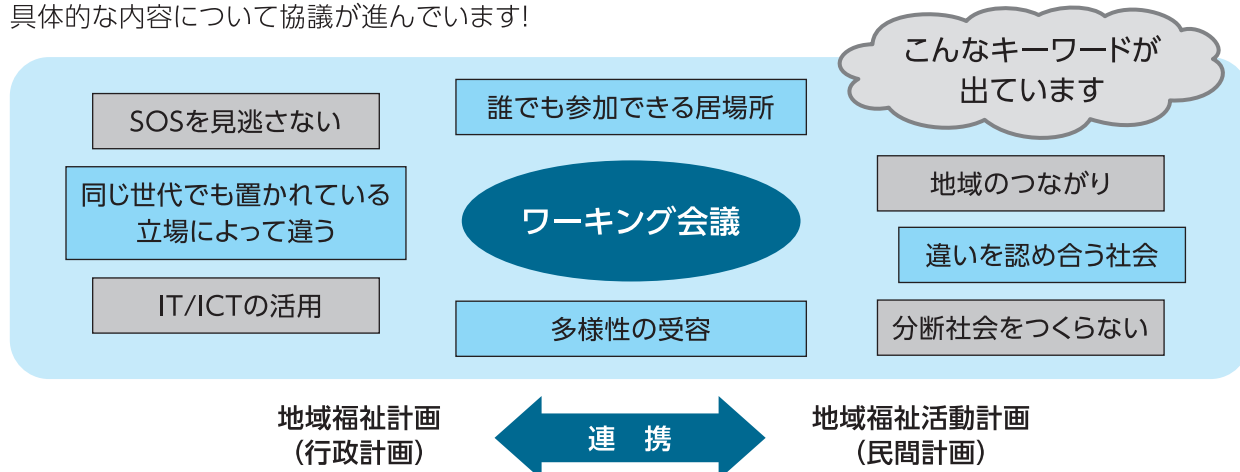
令和4年度に向けて
第2次計画を策定進行中



地域福祉活動計画は、地域福祉ニーズが多様化・複雑化している中で、公的な福祉制度のみに頼らず、住民参加による地域の支えあいを実現していくために、住民や各種団体など様々な主体の意見を集約して策定する民間の活動・行動計画です。

現在、「第2次彦根市地域福祉活動計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）」の策定に向けて、市内の様々な団体や機関の方が集まり、ワーキング会議を開催しています。

“彦根のこれからの地域づくりにおいて何を大切にしていきたいか”を話し合いながら、計画に盛り込む具体的な内容について協議が進んでいます！



「地域福祉計画（行政計画）」と「地域福祉活動計画（民間計画）」を一体的に策定し、それぞれの強みを活かした地域福祉の推進を図っていきます。

住民福祉活動計画

住民福祉活動計画は、地域住民をはじめ、自治会や老人会、サロンの活動者など、地域で暮らす様々な人たちが、各学区でそれぞれの地域の“強み”や“課題”について話し合い、これから5年先・10年先を見据えた地域の“姿”を映し出すものです。

現在、各学区で計画策定の会議が行われ、より多くの意見を計画へ反映させるため、計画策定メンバーが中心となって、住民アンケートや自治会等への聞き取り、住民懇談会などを実施されています！

住民懇談会

アンケート実施

聞き取り調査



地域の強みやいいところ

「向こう三軒両隣、ふだんのご近所づきあいはまだまだ残っているで！」
「声かけや見守りができてから安心やね」
「みんなが集える祭りや行事は今後も続けていきたいなあ」

地域の課題や困りごと

「子どもや若者が減ってきてるなあ」
「高齢化がさらに進んでいくし、どないしよう…」
「地域の活動へ参加しない人が増えてきてるし、いままでどおりの行事を続けられるやろか」



ひきこもり支援についてまずは“知る”研修会を実施しました

支援者・支援機関対象

3月25日(木)くすのきセンターにて、ひきこもり支援の基礎編として、「知る」研修を開催しました。

講師として、滋賀県ひきこもり支援センターの萩尾氏より、ひきこもりについての基本的なお話をいただき、知識を深めました。また、スクールソーシャルワーカー、子ども・若者の居場所実施団体、地域包括支援センターの3者より、学齢期、若年期、高齢期それぞれへの関わり方について、情報提供いただきました。一機関での関わりでなく、チームで支える意味や継続した支援の重要性を参加者で共有しました。



スクールソーシャルワーカー 上村氏(学齢期)

発達や経験といった本人要因だけでなく、本人を取り巻く環境との相互作用により、不登校が長期化する傾向。

NPO 芹川の河童 川崎氏(若年期)

うまくいったりいかなかったり、前進と後退の繰り返しの中で、寄り添い続けることの大切さを感じている。

包括きらら 上田氏(高齢期)

支援する高齢者の子どもが「ひきこもり」ということが多い。8050問題。

ひきこもり支援センター 萩尾氏

ひきこもり支援において、まずは、家族支援から始める。支援の関わり方は様々。本人・家族への寄り添いを通して、世帯の変化に注目していくことが大事。アセスメント(当事者の今の状態を見立てる)が重要となる。一人が抱え込まず、チームで支えていく環境づくりも必要。



▲オンライン配信も実施

次回は「深める」
研修を実施予定

「よりよく生きる」おてつだい

げん あい けん けん り よう ご

「彦愛犬権利擁護サポートセンター」だより



◆ご自身が思う生活を送り続けていただくために◆

彦愛犬権利擁護サポートセンターには、よく「本人のものの忘れが進んで、本人だけではお金の管理が難しくなってきたので、成年後見制度を利用したい」という相談があります。

このように、私たちに相談されるのはご本人のものの忘れが進んでからということが多いです。そうすると、心配されるのは「本当にご本人が思う生活を送るための支援ができるか?」ということです。

成年後見制度は、認知症や障がいなどで判断

能力が不十分になった方を助けるものですが、やはりご本人の思いや意思が大切です。

そのため、できるだけお元気なうちから「将来はこんな生活を送りたい」という希望を周りの方々に伝えてもらうとともに、「この人に自分のことを助けてほしい」という方がおられれば、成年後見制度(特に任意後見制度)の活用を考えてもらいたいと思います。

ご自身が思う生活を送り続けていただくには、早いうちからの意思表示がポイントです。

◆お問い合わせや「もっと聞きたい」ことなどありましたら、こちらまでご連絡ください◆

彦愛犬権利擁護サポートセンター TEL:22-2855 FAX:22-2856 E-mail:kenri-hikone@giga.ocn.ne.jp



ここから通信

身近なボランティア情報をお知らせします♪

まだまだコロナの影響が収まらない中、地域の活動も自粛がちに。人と人の関わりが希薄化してきているそんな中、明るいニュースが…
彦根市内で新たな居場所活動が始まりました！
今回は新たな居場所のご紹介です。

代表者の野瀬さんにインタビュー！

若者層の気楽な居場所「たまりら」



ポイントは“細くゆる～く”

Q：いきなりですが「たまりら」ってどういう意味ですか？

野：たま～に来て、リラックスできる場所、だから「たまりら」です。
学校や、職場、また家でもないけどホッとできる場を開きたいなという想いで始めました。

Q：活動を始めようとしたきっかけは？

野：もともと別のボランティアグループで学習支援を行っていたのですが、不登校気味の子ども達も、活動にはよく参加していて、そういった子らが参加できる場がもっとあればと思い、始めました。

Q：参加者はどんな方たちが来られますか？

野：対象は10代～30代を想定していますが、誰が来ても拒みません。今は近くにある滋賀大学の学生や、20代の若者が参加してくれています。ボードゲーム、カードゲームをしたり、だらだら話したり、ゆったりした時間を過ごされています。

Q：活動で大事にしたい部分は？

野：地域にはいろんな選択肢があっていいと思っています。いろんな場の中で「たまりら」に安心感を感じてくれる人がいればうれしいです。参加者の中には悩み・不安を抱えた方もおられるでしょうが、積極的に話を聞きだすというよりは、ポロっと思いがこぼれた時にはしっかり寄り添っていきたいです。

Q：今後の展開は何か考えておられますか？

野：今はコロナで大きな活動はできませんが、ゆくゆくはみんなでバーベキューや、地域との多世代交流ができたらと考えています。場も毎週開けられたらと思いますが、今は主として1人で運営しているので、まずは確実に月2回、場が開いているという安心感を持ってもらえたらと思っています。来たい時に来れる場所を保証していくためにも継続性が大事。広げすぎず“細くゆる～く”運営していきたいです。

ボランティアについて気軽にご相談ください！

「何かボランティアをしてみたい」「こんなボランティアさんを募集している」「ボランティアグループを立ち上げてみたい」「なにかしてみたいけど一歩が踏み出せない」等々、一口にボランティアといっても想いは様々。ボランティアセンターでは、そんな皆さんの想いを形にする応援をしています。

お気軽に下記までお問合せください！

地域づくりボランティアセンター
TEL：0749-22-2821 FAX：0749-22-2841

ボランティア情報
発信中！



ボラカフェ彦根

お知らせ 滋賀県レイカディア大学 第43期 学生募集のお知らせ

応募期間：令和3年6月1日～8月10日

応募方法：下記まで問い合わせください

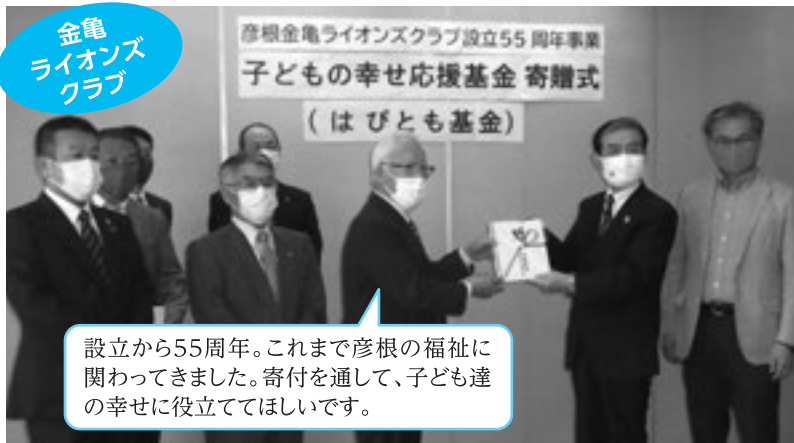
○レイカディア大学とは

高齢者の社会参加への意欲の高まりに応え、高齢者が新しい知識と教養を身に着け、地域の担い手として活躍できるよう支援するための学びの場です。開校以来約6,200名以上が卒業し地域で活躍されています。

レイカディア大学草津校：077-567-3901

レイカディア大学米原校：0749-52-5110

「はぴとも基金」へ 寄付をいただきました



設立から55周年。これまで彦根の福祉に関わってきました。寄付を通して、子ども達の幸せに役立ててほしいです。



カンボジア
大地の会

カンボジアの地雷撤去を行うために集めた募金ですが、ぜひ彦根の子どもの幸せにも活かしてほしいと思います。

【お問い合わせ】 地域づくりボランティアセンター
電話：(0749)22-2821 FAX：(0749)22-2841
はぴとも専用メール：hapitomo@hikone-shakyo.or.jp

子どもの幸せをみんなで応援!!

子どもを取り巻く社会の状況は、7人に1人が相対的貧困といわれるなど、さまざまな生きづらさやしんどさを感じている子どもが増している中、彦根市内では、子ども食堂などの居場所や子ども服・学用品のリユース活動など地域でのさまざまな応援の輪が広がってきています。

『子どもの幸せをみんなで応援したい!』という願いを思いをカタチにするものとして、4月より「子どもの幸せ応援基金」(愛称:はぴとも基金)を設置いたしました。

基金の
使いみち

子ども・子育て世帯の応援
子どもに関わる活動団体への応援
小児難病救済

サポーター募集中!!

子ども達の幸せと一緒に応援しませんか?
マンスリーサポーター：月500円×12カ月分

※その他の寄付も受付しています。

市社協窓口の他、こちらのバーコードからも寄付申込が可能です。入力された住所に振込用紙を送付いたします。



あたたかい思いやりありがとうございました

〈古切手、使用済みテレホンカード〉

△北村文子 △木元美和子 △清草会 △五十嵐勝久 △アロフエンテ彦根 △古沢鶴寿会 △彦根モロロジー事務所 △彦根市立病院訪問介護ステーション △彦根市立病院訪問介護ステーションほほえみ △(株)ワールドプラン彦根営業所 △(有)藤塚時計店 △ディサービスぶどう △鈴木ヘルスケアサービス △彦根市ふたばディサービスセンター △(株)高木造園 △北ディサービスセンター △松井洋子 △NPOぽぽハウス △折田嘉章 △八月十六 △(株)コテラ △(有)テクノ近江 △国際ソロプチミスト彦根 △ミタニダンススタジオ △彦根商工会議所 △小川利一 △(有)大津屋雑貨店 △菜の花心療クリニック △彦根相互トラック(株) △南老人福祉センター △彦根市内 A子 △すみよしクリニック △滋賀県東部地区 郵便局長夫人会 彦根支部 △中村建設(株) △辻堂町老人会 △(株)ナイキ彦根工場 △寿楽会 △白杵孝 △(株)大橋 △光善寺日曜学校 △彦根保健所 △北川和一 △北村直久 △NPO法人彦根育成会 △滋賀県護国神社 △(株)川地工務店 △郵便局長夫人会 彦根南部会 △彦根子ども家庭相談センター △KBS京都 滋賀放送局 △マルホ(株)彦根工場 △福田友和 △メイプルコート日夏 △北坂節子 △普光寺町ボランティアサークル 燦々会 △認定NPO法人 喜房会 △(株)水原建築設計事務所 △彦根市内郵便局 △野沢弘幸 △彦根市立高宮幼稚園 △花田保育園 △彦根学園 △(有)シナプス △たちばな法律事務所 △彦根市精神障害者家族会 集まろう会 △要約筆記サークル キャロット △近江第二ふるさと園 △レントリー滋賀(株) △友仁ケアプラン 支援センター △北村幸枝 △彦根市立桜枝中学校 △彦根市役所【納税課、社会福祉課、農林水産課、総務課、契約管理室、地域経済振興課、選挙管理委員会事務局、税務課】 △匿名(23件)

〈ベルマーク・ロータスクーポン〉

△北村文子 △アロフエンテ彦根 △古沢鶴寿会 △坂口実千代 △下口恵 △北ディサービスセンター △NPOぽぽハウス △八月十六 △浅井久之 △小川利一 △彦根相互トラック(株) △南老人福祉センター △彦根市内 A子 △すみよしクリニック △彦根市立病院訪問看護ステーションほほえみ △滋賀県東部地区 郵便局長夫人会 彦根支部 △中村建設(株) △辻堂町老人会 △和光 △千菊幸子 △木下恵美子 △岐阜協立大学 彦根支部 △野沢弘幸 △認定NPO法人 喜房会 △彦根学園 △匿名(12件)

彦根善意銀行

令和2年11月16日～令和3年3月31日

物品預託

(敬称略)

氏名または団体名	品名
下口恵	女子制服
高木・技研 特別共同体	車いす 2台
パリア	お菓子セット
宮田真弓	下着、くつ下
青山好子	男性用下着
JA東びわこ女性部	お米・タオル
辻村ミチ子	紙おむつ、紙パッド
草郷芳次	敷布団
夏原敏昭	男性下着 等
移動美容まいまい	紙おむつ、尿取りパッド
西田信子	大人用紙おむつ、尿取りパッド
小菅好栄	着物、帯
浅井華代	紙パンツ用パッド
ナルクびわこ彦根	お手玉
島津幸子	衣類
樋口静香	着物
野の花薬局	感熱紙(FAX用)
近江ふるさと会 居宅介護支援事業所	おしりふき、からだふき

物品預託

(敬称略)

氏名または団体名	品名
匿名 28名	タオル、固形石鹸
	ピアニカ、マスク
	ランドセル、絵の具セット
	毛糸、布、棒針
	書道道具
	洗濯用洗剤
	靴下
	男性用下着
	紙おむつ、毛糸、ハギレ
	紙パッド
	尿取りパッド
	滅菌ガーゼ
	おしりふき
	大人用紙パンツ
	スポーツ用品
	事務用品
	肌着、衣類
	男性用肌着、カッターシャツ 等

金銭預託

(敬称略)

氏名または団体名	金額(円)
JA東びわこ女性部	1,100円
(株)コテラ	853円
蔵の町子ども会	5,000円
彦根市内A子	2,000円
昭和電工 ユニオン彦根支部	100,000円
ナルクびわこ彦根	1,000円
特定非営利活動法人ホームスイートホーム	200,000円
(株)滋賀原木	商品券 50,000円
北川 賢	5,500円
北川 和一	未使用切手 2,136円
上田 和光	4,022円
匿名	4,490円
匿名	50,000円
匿名	50,000円
匿名	1,000円
匿名	商品券 2,500円
匿名	2,000円

貸衣装

だより



お待ちしております！

【お問合せ】

彦根市社会福祉協議会
貸衣装室
TEL:0749-22-1122(直通)

【営業時間】

月～金曜日
8:30～17:15(祝日除く)
第2土曜日
9:00～17:00

2023年成人式用振袖の予約開始

7月1日(木)より2023年成人式に使用する振袖の予約を開始します。対象者は下記の通りです。

対象者：平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの方

社協では、良質で低価格の振袖を30着、豊富な色や柄で取り揃えております。あなたにピッタリの一枚を探してみても？

また、7月1日(木)～7月30日(金)の期間、常時展示しておりますので、当会貸衣装室まで一度見学にお越しください。

振袖フルセット価格：35,000円 または 30,000円

【セット内容】

着物・帯・長襦袢・帯揚げ・帯締め・重ね襟・肌着・腰紐(3)・伊達締め(2)・
コーリンベルト・三重仮紐・帯枕・前板・後板・衿芯・草履、バッグ、ショール



その他のニュース

◇ 2022年の成人式用振袖の予約も行っています。
まだお決まりではない方は、是非当貸衣装室まで
見学にお越しください。

◇ 昨年より、ホームページにて全衣装が閲覧可能となりました。「貸衣装室まで行くのはちょっと…」と思っている方は、下記URLまで！

<http://www.hikone-shakyo.or.jp>

◇ この春よりスマートホン決済サービス PayPay
でのお支払いが可能となりました。



この事業で得た収益は、彦根市社会福祉協議会が推進する地域福祉活動に広く活用しています。

	種類	利用料金(税込)
女性	留袖	5,000円～25,000円
	訪問着	8,000円～20,000円
	振袖	25,000円～35,000円
	中振袖	6,000円
	袴	4,000円
	喪服・ブラックフォーマル	5,000円
	洋装(慶事用)	1,000円～5,000円
男性	紋付羽織袴	9,000円
	モーニング	7,000円～9,000円
	略礼服・スーツ	5,000円
子ども	初着	5,000円
	七五三	5,500円～7,500円
	男児スーツ	2,000円～3,000円
	女児ドレス・スーツ	2,000円～2,500円

社協ひこね

2021年(R3)7月 第218号

編集発行／社会福祉法人彦根市社会福祉協議会
〒522-0041 彦根市平田町670
TEL 0749-22-2821 FAX 0749-22-2841
ホームページ <http://www.hikone-shakyo.or.jp>
E-mail hikoshachiiki@mirror.ocn.ne.jp

最新情報をタイムリーにお届け！



Homepage



twitter



facebook



instagram



～この広報紙の一部は、「赤い羽根共同募金」の助成金や皆さまからの会費で作成しています。～